

平成30年度

(2018年度)

入学者選抜要項



国立大学法人
秋田大学
AKITA UNIVERSITY

入学者選抜日程の概要

年	月	日付・時期	AO入試	推薦入試 I	推薦入試 II	一般入試	私費外国人留学生入試
平成 29 年	6月	18日					日本留学試験
	9月	7日～13日	出願期間				
		30日	試験(理)				
	10月	9月26日～6日			大学入試センター試験出願		
		13日	合格発表				
		19日～24日	入学手続				
	11月	1日～6日		出願期間			
		12日					日本留学試験
		25日		試験(教)			
	12月	11日		合格発表			
13日～19日				出願期間			
		20日～22日				出願期間(医を除く)	
平成 30 年	1月	13日～14日			大学入試センター試験		
		18日			試験(医医)		
		19日			試験(全)		試験(医を除く)
		22日～31日				出願期間	出願期間(医)
	2月	5日			合格発表	(2段階選抜)	合格発表(医を除く)
		13日～14日		入学手続			入学手続(医を除く)
		25日				前期日程(全)	試験(医)
		26日				前期日程(医医)	試験(医医)
	3月	7日				合格発表(前)	合格発表(医)
		12日				後期日程(全)	
		14日～15日				入学手続(前)	入学手続(医)
		21日				合格発表(後)	
		26日～27日				入学手続(後)	

入学者選抜の種類

○一般入試

全学部で前期日程および後期日程に入学定員を分割し、それぞれ志願者を募集して選抜を行います。

○アドミッション・オフィス(AO)入試

理工学部で行います。

○推薦入試

教育文化学部で大学入試センター試験を課さない推薦入試 I を、全学部で大学入試センター試験を課す推薦入試 II を行います。

○私費外国人留学生入試

全学部で行います。

○渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試

理工学部で行います。

目 次

平成30年度入学者選抜の主な変更点	2
I 募集人員	5
II 平成30年度秋田大学入学者選抜方法等	
[一般入試, アドミッション・オフィス(AO)入試等]	6
[推薦入試等]	7
III 一般入試	
1. 出願資格	8
2. 選抜関係日程	8
3. 一般入試出願時の注意	8
4. 試験場	9
5. 入学者選抜方法	9
6. 2段階選抜	9
7. 平成30年度秋田大学入学者選抜の実施教科・科目等について	10
8. 大学入試センター試験および個別学力検査等の配点	18
9. 実技検査の内容	20
IV アドミッション・オフィス(AO)入試【理工学部】	
1. 選抜関係日程	22
2. 出願要件	22
3. 選抜方法	22
V 推薦入試	
1. 選抜関係日程	23
2. 推薦入試出願時の注意	23
3. 推薦の要件	
[推薦入試Ⅰ]	23
[推薦入試Ⅱ]	24
4. 選抜方法	
[推薦入試Ⅰ]【教育文化学部】	27
[推薦入試Ⅱ]	27
5. 大学入試センター試験および個別学力検査等の配点【推薦入試Ⅱ】	31
6. 実技検査の内容	32
VI 私費外国人留学生入試	33
VII 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試	35
VIII 秋田大学の理念と基本的な目標	
全学および各学部等の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	36
秋 田 大 学	36
国 際 資 源 学 部	37
教 育 文 化 学 部	41
医 学 部	49
理 工 学 部	54
私費外国人留学生入試	66
IX その他	
1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	73
2. 平成30年度秋田大学「個別の入学資格審査」について	74
3. 検定料免除について	75
4. 一般入試における入試過去問題の使用について	75
5. 学生募集要項の発表・配布	76
6. 大学の案内図	78

平成30年度入学者選抜の主な変更点

《教育文化学部》

教育文化学部学校教育課程「理数教育コース」において、新たに推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）を実施するとともに、「地域文化学科」では、推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない）の募集人員を増員します。

平成29年度入試		入学定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人 留学生入試
			前期日程	後期日程		I	II	
学校教育課程	理数教育コース	20	15	5	—	—	—	若干名
地域文化学科		100	65	15	—	20 ※	—	若干名

※20人のうち地域貢献枠5人程度



平成30年度入試		入学定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人 留学生入試
			前期日程	後期日程		I	II	
学校教育課程	理数教育コース	20	12	4	—	—	4	若干名
地域文化学科		100	60	15	—	25 ※	—	若干名

※25人のうち地域連携・国際交流枠5人程度

《医学部医学科》

医学部医学科の募集人員について（申請予定）

医学部医学科では、「新医師確保総合対策」および「緊急医師確保対策」に基づき、平成20年度および平成21年度に開始された暫定的な医学部定員増が平成29年度に終了することに伴い、平成30年度入試における推薦入試Ⅱの募集人員は『一般枠20人、地域枠9人（秋田県地域枠および全国地域枠）』となります。

現在、平成29年度入試推薦入試Ⅱの募集人員と同様に『一般枠20人、地域枠24人（秋田県地域枠19人程度、全国地域枠5人程度）』となるよう申請予定であります。今後変更となる場合もあります。

なお、詳細については決定次第ホームページでお知らせしますので、医学部医学科を志願される方は必ずご確認ください。

平成29年度入試	入学定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人留学生入試
		前期日程	後期日程		I	II	
医 学 科	124	55	25	-	-	44 ※	若干名

※44人のうち一般枠20人、地域枠24人（秋田県地域枠19人程度、全国地域枠5人程度）



平成30年度入試	入学定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人留学生入試
		前期日程	後期日程		I	II	
医 学 科	109	55	25	-	-	29 ※	若干名

※29人のうち一般枠20人、地域枠9人（秋田県地域枠および全国地域枠）

《理工学部》

理工学部の前期日程において、a・bの方式を設け、それぞれの方式で募集します。(以下「前期a」「前期b」とします。)前期aは現行の方式、前期bは個別学力検査の配点を重くした新しく導入する方式で、出願時にいずれかを選択することになります。生命科学コース、数理科学コースでは前期bを実施しません。

なお、前期a、前期bにおける個別学力検査の試験問題は、同一のものです。

平成29年度入試		定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人留学生入試	渡日前私費外国人留学生入試
			前期日程	後期日程		I	II		
生命科学科	生命科学コース	45	20	15	5	—	5	若干名	若干名
物質科学科	応用化学コース	53	28	14	4	—	7		
	材料理工学コース	57	35	18	2	—	2		
数理・電気電子情報学科	数理科学コース	23	13	5	3	—	2		
	電気電子工学コース	65	38	8	11	—	8		
	人間情報工学コース	32	16	8	6	—	2		
システムデザイン工学科	機械工学コース	50	28	7	8	—	7		
	創造生産工学コース	25	14	5	4	—	2		
	土木環境工学コース	45	28	6	2	—	9		
計		395	220	86	45	—	44		



平成30年度入試		定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人留学生入試	渡日前私費外国人留学生入試
			前期日程	後期日程		I	II		
生命科学科	生命科学コース	45	a 20	15	5	—	5	若干名	若干名
物質科学科	応用化学コース	53	a 20 b 10	10	4	—	9		
	材料理工学コース	57	a 25 b 15	7	2	—	8		
数理・電気電子情報学科	数理科学コース	23	a 13	5	3	—	2		
	電気電子工学コース	65	a 21 b 19	8	10	—	7		
	人間情報工学コース	32	a 13 b 3	8	6	—	2		
システムデザイン工学科	機械工学コース	50	a 14 b 14	7	8	—	7		
	創造生産工学コース	25	a 10 b 4	5	4	—	2		
	土木環境工学コース	45	a 22 b 6	6	2	—	9		
計		395	229	71	44	—	51		

I 募集人員

学部・学科・課程 専攻・コース			入学 定員	募 集 人 員						
				一 般 入 試		アドミッ ション・ オフィス (AO) 入 試	推 薦 入試 I	推 薦 入試 II	私 費 外国人 留学生 入 試	渡日前入学 許可制度に よる私費外 国人留学生 入 試
				前 期 日 程	後 期 日 程					
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	120	20	7	-	-	3	5	-
		資源地球科学コース		22	8	-	-	5		
		資源開発環境コース		35	10	-	-	5		
	計		120	77	25	-	-	13	5	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	45	25	8	-	4	8	若干名	-
		英語教育コース	10	6	2	-	-	2		
		理数教育コース	20	12	4	-	-	4		
		特別支援教育コース	15	12	3	-	-	-		
		こども発達コース	20	10	4	-	-	6		
		小 計	110	65	21	-	4	20		
	地域文化学科		100	60	15	-	25注1	-		
計		210	125	36	-	29	20			
医学部	医 学 科		124	55	25	-	-	44注2	若干名	-
	保健学科	看護学専攻	70	40	10	-	-	20	若干名	-
		理学療法学専攻	18	10	2	-	-	6		
		作業療法学専攻	18	10	3	-	-	5		
		小 計	106	60	15	-	-	31		
計		230	115	40	-	-	75			
理工学部	生命科学科	生命科学コース	45	注3 a 20	15	5	-	5	若干名	若干名
		物質科学科	応用化学コース	53	a 20 b 10	10	4	-		
	材料理工学コース		57	a 25 b 15	7	2	-	8		
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	23	a 13	5	3	-	2		
		電気電子工学コース	65	a 21 b 19	8	10	-	7		
		人間情報工学コース	32	a 13 b 3	8	6	-	2		
	システムデザイン工学科	機械工学コース	50	a 14 b 14	7	8	-	7		
		創造生産工学コース	25	a 10 b 4	5	4	-	2		
		土木環境工学コース	45	a 22 b 6	6	2	-	9		
	計		395	229	71	44	-	51		
合 計			955	546	172	44	29	159	5	

注1：25人のうち地域連携・国際交流枠5人程度

注2：医学部の推薦入試IIの募集人員は44人のうち一般枠20人、地域枠24人（秋田県地域枠19人程度、全国地域枠5人程度）となるよう申請予定ですが、今後変更となる場合があります。（P3参照）

注3：aとbでは大学入試センター試験と個別学力検査の配点が異なります。配点についてはP18を参照してください。

[推薦入試等]

選 抜 方 法 等 学部・学科等名			推 薦 入 試								私費外国人留学生入試	帰国生	外国人の特別 中国引揚者等子女	社会人	実技検査等の日程
			出身学校の推薦に基づき、原則として学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する												
			区	分	実 技 検 査 等										
個別学力検査を課す (推薦Ⅱ)	個別学力検査を課す (推薦Ⅰ)	面接 実技			面接 実技	論文 小論文	外国語 リスニング								
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	推薦入試Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	○			【推薦入試Ⅱ】 【私費外国人留学生入試】 1月19日(金)	
		資源地球科学コース		×	×	×	×	×	×	×					
		資源開発環境コース		×	×	×	×	×	×	×					
	国際資源学科	資源政策コース	推薦入試Ⅱ	○	×	×	○	×	×	×					
		資源地球科学コース		○	×	×	○	×	×	×					
		資源開発環境コース		○	×	×	○	×	×	×					
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	推薦入試Ⅰ	×	○	○注3	○注4	○	×	×	○			【推薦入試Ⅰ】 11月25日(土)	
		英語教育コース		×	×	×	×	×	×	×					
		理数教育コース		×	×	×	×	×	×	×					
		特別支援教育コース		×	×	×	×	×	×	×					
		こども発達コース		×	×	×	×	×	×	×					
		一般 枠		×	○	×	○注4	○	×	×					
	地域文化学科	地域連携・国際交流枠	×	○	×	○注4	×	×	×						
		教育実践コース	推薦入試Ⅱ	○	×	○注5	○	○	×	×					
		英語教育コース		○	×	×	○注6	○注7	×	×					
		理数教育コース		○	×	×	○	×	×	×					
特別支援教育コース	×	×		×	×	×	×	×							
地域文化学科	こども発達コース	○	×	×	○	○	×	×							
	一般 枠	×	×	×	×	×	×	×							
医学部	医学科	医学科	推薦入試Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	【推薦入試Ⅱ】 1月18日(木) (医学科のみ) 1月19日(金) (全学科) 【私費外国人留学生入試】 2月25日(日) (全学科) 2月26日(月) (医学科のみ)	
		看護学専攻		×	×	×	×	×	×	×					
	保健学科	理学療法学専攻	推薦入試Ⅱ	○	×	×	○	×	×	×					
		作業療法学専攻		○	×	×	○	○	×	×					
	保健学科	看護学専攻	推薦入試Ⅱ	○	×	×	○	×	×	×					
		理学療法学専攻		○	×	×	○	○	×	×					
保健学科	作業療法学専攻	推薦入試Ⅱ	○	×	×	○	○	×	×						
	一般 枠		○	×	×	○	○	×	×						
理工学部	生命科学科	生命科学コース	推薦入試Ⅰ	×	×	×	×	×	×	×	○			【推薦入試Ⅱ】 試験日は設けない	
		物質科学科		×	×	×	×	×	×	×					
		数理・電気電子情報学科		×	×	×	×	×	×	×					
		システムデザイン工学科		×	×	×	×	×	×	×					
	生命科学科	生命科学コース	推薦入試Ⅱ	○	×	×	×	×	×	○注8					
		物質科学科		○	×	×	×	×	×	○注8					
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	推薦入試Ⅱ	○	×	×	×	×	×	○注8					
		電気電子工学コース		○	×	×	×	×	×	○注8					
	システムデザイン工学科	人間情報工学コース	推薦入試Ⅱ	○	×	×	×	×	×	○注8					
		機械工学コース		○	×	×	×	×	×	○注8					
システムデザイン工学科	創造生産工学コース	推薦入試Ⅱ	○	×	×	×	×	×	○注8						
	土木環境工学コース		○	×	×	×	×	×	○注8						

注1：○印は、当該検査等を課すことまたは該当することを示します。
 注2：×印は、当該検査等を課さないことまたは該当しないことを示します。
 注3：体育
 注4：面接（口頭試問を含む）
 注5：美術
 注6：面接（英語スピーキングテスト）
 注7：小論文（英文）
 注8：書類審査

Ⅲ 一般入試

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成30年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

* ③のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、74～75ページを参照の上、申請してください。

2. 選抜関係日程

	出願受付期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
前期日程	平成30年 1月22日(月) }	平成30年 2月25日(日) 医学部医学科は 2月25日(日)・26日(月)	平成30年 3月 7日(水)	平成30年 3月14日(水)～ 3月15日(木) (必着)
後期日程	平成30年 1月31日(水) (必着)	平成30年 3月12日(月)	平成30年 3月21日(水)	平成30年 3月26日(月)～ 3月27日(火) (必着)

3. 一般入試出願時の注意

「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。したがって、「前期－前期」または「後期－後期」の併願はできません。

本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学部・学科・課程・コース等の場合、異なる学部・学科・課程・コース等の場合とも可能です。

4. 試験場

<p>国際資源学部</p>	<p>秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号</p> <p>東京試験場（前期日程のみ・収容人員80名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32</p> <p>名古屋試験場（前期日程のみ・収容人員50名） 愛知大学名古屋キャンパス：愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6</p>
<p>教育文化学部</p>	<p>秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号</p> <p>東京試験場（前期日程のみ・収容人員80名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32</p> <p>〔個別学力検査等で実技検査を選択した者および英語教育コースの志願者は秋田試験場のみとなります。〕</p>
<p>医学部</p>	<p>秋田大学本道キャンパス：秋田市本道一丁目1の1</p>
<p>理工学部</p>	<p>秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号</p> <p>東京試験場（前期日程のみ・収容人員200名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32</p> <p>名古屋試験場（前期日程のみ・収容人員150名） 愛知大学名古屋キャンパス：愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6</p>

5. 入学者選抜方法

- (1) 大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して判定します。
- (2) 志望する学科、課程、専攻、コースの課す大学入試センター試験の教科・科目および個別学力検査等を、すべて受けなければ合格者としません。
- (3) 本学では、前年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。必ず、平成30年度大学入試センター試験を受験してください。

6. 2段階選抜

医学部医学科において、入学志願者が前期日程の募集人員(55名)の5倍、後期日程の募集人員(25名)の7倍を超えた場合、大学入試センター試験の成績(5教科7科目の素点計。ただし、英語は250点満点を200点満点に換算)により第1段階選抜を行うことがあります。実施の有無、可否については、平成30年2月5日(月)に入学志願者全員に通知書を発送します。

7. 平成30年度秋田大学入学者選抜の実施教科・科目等について

(1) 国際資源学部

【大学入試センター試験】

教科・科目		受験を要する教科・科目名																															
		国語	地理歴史				公民			数学				理科				外国語															
学部・学科・コース	日程	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
			国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
1	2						1	1	2		1		1		2		1		1														
②	◎	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	2				1	1	1		1		2		1		1																		
資源地球科学コース	前期後期	①		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1		1				1	1	2		1		1		1		1															
②	◎	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	1				1	1	2		1		1		1		1																		
資源開発環境コース	前期後期	①		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		1		1				1	1	2		1		1		1		1															
②	◎	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	1				1	1	2		1		1		1		1																		

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【国際資源学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等 学部・学科・コース			前期日程						後期日程							
			教科等						備考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備考		
			国語	数学	英語	理科									その他	
※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7					※8					
国際 資源 学部	国際 資源 学科	資源政策 コース	◎	×	◎	×	×	×	×	×		×	×	×	◎	世界史，日本史，地理から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む
			1		1									1		
		資源地球科学 コース	×	◎	◎	○	○	○	○	×	理科は，物理，化学，生物，地学から1科目選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B	×	×	×	◎	物理，化学，地学から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む
		1	1	1								1				
		資源開発環境 コース	×	◎	◎	○	○	○	○	×	理科は，物理，化学，生物，地学から1科目選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B	×	×	×	◎	物理，化学から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む
			1	1	1								1			

◎は必ず受験を要する科目等，×は本学では採用しない科目等，○は選択して受験を要する科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。

- ※1 国語総合（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがある。）
- ※2 数学の数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし，数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。
- ※3 コミュニケーション英語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，英語表現Ⅰ，Ⅱ
- ※4 物理基礎，物理
- ※5 化学基礎，化学
- ※6 生物基礎，生物
- ※7 地学基礎，地学
- ※8 面接における理科の試問は，前期日程試験と同じ出題範囲とします。

《英語資格等の活用》

次の(1)から(5)のいずれかの要件を満たしている者は，個別学力検査の「英語」科目を免除し，満点と換算して合否判定します。

(1) TOEFL iBT	61点以上
(2) TOEFL ITP	500点以上
(3) TOEIC	730点以上
(4) IELTS	6.0以上
(5) 英検	準1級以上

- ・平成28年（2016年）1月以降に受験したものを対象とします。
- ・当該スコア等を証明する書類は出願書類と同時に提出する必要があります。
- ・成績証明書の交付には相当期間を要するため，出願期間に留意の上，早めに準備してください。

(2) 教育文化学部

【大学入試センター試験】

教科・科目		受験を要する教科・科目名																																											
		国語		地理歴史				公民			数学				理科				外国語																										
学部・課程・学科等	日程	バターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語													
		教育文化学部	教育実践コース	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
1	2				1	2		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1														
②	◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
1	2				1	2		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1												
③	◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
1	2				1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1												
④	◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
1	2			1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1													
⑤	◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
1	2			1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1											
⑥	◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
1	2			1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1											
英語教育コース	前期		①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
			1	2		1	1		1	1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1											
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	1		2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1										
	③		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
	1		2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1										
後期	①		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
	1		2		1	1		1	1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1										
	②		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
理数教育コース	前期		①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
			1	2		1	1		1	1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1									
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1									
	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1									
特別支援教育コース	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
		1	2		1	1		1	1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1								
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1							
	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1							
子ども発達コース	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
		1	2		1	1		1	1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1						
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1					
	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1					
地域文化学科	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
		1	2		1	1		1	1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1				
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1			
	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1			
後期	④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1			
	⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	
	⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	1	2		1	1		1	1		1		1		2		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1		1	

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔教育文化学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等			前 期 日 程							後 期 日 程						
			教 科 等							備 考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備 考	
			国語	数学	英語	理 科										その他
※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7										
学部・課程・学科等																
教 育 文 化 学 部	学 校 教 育 課	教育実践コース	○	○	○	×	×	×	×	○	国語、英語、数学、その他から1教科等選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B その他は実技検査（音楽、美術、体育）から一つ選択	○	×	○	×	実技検査（音楽、美術、体育から一つ選択）または小論文
		英語教育コース	◎	×	◎	×	×	×	×	◎	英語は、リスニングを含む その他は、面接（英語スピーキングテスト）	◎	×	×	◎	小論文（英文）、面接（英語および日本語）は口頭試験を含む
	学 程	理数教育コース	×	○	×	○	○	○	○	×	数学、理科から1教科選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B 理科は、物理、化学、生物、地学から1科目選択	×	×	×	◎	
		特別支援教育コース	○	○	○	×	×	×	×	×	国語、数学、英語から2教科選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B	◎	×	×	◎	面接は、口頭試験を含む
		こども発達コース	○	○	○	×	×	×	×	×	国語、数学、英語から2教科選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B	×	◎	×	◎	面接は、口頭試験を含む
部	地域文化学科	○	○	○	×	×	×	×	×	国語、数学、英語から2教科選択 数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B	◎	×	×	×		

◎は必ず受験を要する科目等、×は本学では採用しない科目等、○は選択して受験を要する科目等、その下欄の数字は必要科目等数を示します。

- ※1 国語総合（近代以降の文章。ただし、古文・漢文との融合問題を含むことがある。）
- ※2 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。
- ※3 コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ
- ※4 物理基礎、物理
- ※5 化学基礎、化学
- ※6 生物基礎、生物
- ※7 地学基礎、地学

(3) 医学部

【大学入試センター試験】

教科・科目			受験を要する教科・科目名																																
			国語	地理歴史				公民			数学				理科				外国語																
学部・学科等	日程	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語			
			医	医学科		前期	◎	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
後期	1	1				1				1				2				1																	
学部	保健学科	看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
				1	1				1				2				1																		
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
				1	1				1				2				1																		
			後期	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
				1	2				1				2				1																		
				④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
				1	2				1				1				1																		

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【医学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等 学部・学科等		前期日程								後期日程						
		教科等							備考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備考		
		国語	数学	英語	理科			その他								
※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7										
医 学 部	医学科	×	◎	◎	×	×	×	×	◎	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B その他は、面接	◎	×	×	◎		
			1	1					1		1					
	保健 学 科	看護学専攻	×	×	◎	×	×	×	×	◎	その他は、面接	◎	×	×	◎	
					1					1		1				
	理学療法学 専攻	×	×	◎	×	×	×	×	◎	その他は、面接	◎	×	×	◎		
				1					1		1					
	作業療法学 専攻	×	×	◎	×	×	×	×	◎	その他は、面接	◎	×	×	◎		
				1					1		1					

◎は必ず受験を要する科目等，×は本学では採用しない科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※1 国語総合（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがある。）

※2 数学の数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし，数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 コミュニケーション英語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，英語表現Ⅰ，Ⅱ

※4 物理基礎，物理

※5 化学基礎，化学

※6 生物基礎，生物

※7 地学基礎，地学

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等		前 期 日 程										後 期 日 程			
		教 科 等							備 考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備 考	
		国語	数学	英語	理 科										その他
※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7					※8				
工 学 部	生命科学科	生命科学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	×	×	×	◎	物理, 化学, 生物から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む
				1		1								1	
	物質科学科	応用化学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×	×	×	◎	物理, 化学の基礎学力に関する試問を含む
				1		1								1	
	材料理工学科	材料理工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×	×	×	◎	物理, 化学の基礎学力に関する試問を含む
				1		1								1	
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	×	×	×	◎	数学の基礎学力に関する試問を含む
				1		1								1	
		電気電子工学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	×	×	×	◎	物理の基礎学力に関する試問を含む
		1		1								1			
	人間情報学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	×	×	×	◎	数学分野に関する知識についての試問を含む	
		1		1								1			
システムデザイン工学科	機械工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×	×	×	◎	数学, 物理の基礎学力に関する試問を含む	
			1		1								1		
	創造生産工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×	×	×	◎	数学, 物理の基礎学力に関する試問を含む	
		1		1								1			
	土木環境工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×	×	×	◎	数学, 物理の基礎学力に関する試問を含む	
		1		1								1			

◎は必ず受験を要する科目等, ×は本学では採用しない科目等, ○は選択して受験を要する科目等, その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※1 国語総合(近代以降の文章。ただし, 古文・漢文との融合問題を含むことがある。)

※2 数学の数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学Aの出題範囲は, 高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし, 数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 コミュニケーション英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, 英語表現Ⅰ, Ⅱ

※4 物理基礎, 物理

※5 化学基礎, 化学

※6 生物基礎, 生物

※7 地学基礎, 地学

※8 面接における数学および理科の試問は, 前期日程試験と同じ出題範囲とします。

8. 大学入試センター試験および個別学力検査等の配点

【前期日程】

学部・学科・課程等		試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)				900	
		個別学力検査	250				250				500	
	資源地球科学コース	センター試験	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)				850	
		個別学力検査			200	150	100				450	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	センター試験 200×8/9	※100×8/9 ※100×8/9	※100×8/9 ※100×8/9	※100×8/9 ※100×8/9	200×8/9				800	
		個別学力検査	#200		#200		#200	#200			200	
	英語教育コース	センター試験	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	
		個別学力検査	100				250 【筆記 200 リスニング 50】		50		400	
	理数教育コース	センター試験	200×7/9	100×7/9	200×7/9	200×7/9	200×7/9				700	
		個別学力検査			#300	#300					300	
	特別支援教育コース こども発達コース	センター試験	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	
		個別学力検査	#200		#200		#200				400	
	地域文化学科	センター試験	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	
		個別学力検査	#200		#200		#200				400	
医学部	医学科	センター試験	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	100 (200×0.5×1)				550	
		個別学力検査			100		100		200		400	
	保健学科	看護学専攻	センター試験	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)				720
		個別学力検査					100		100		200	
	理学療法学専攻 作業療法学専攻	センター試験	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)				630	
		個別学力検査					200		200		400	
理工学部	a	センター試験	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)				850	
		個別学力検査			250	150					400	
	b	センター試験	100 (200×0.5×1)	25 (100×0.25×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)				425	
		個別学力検査			550	330					880	

- 注1：センター試験欄の（ ）内は、大学入試センター試験の素点、傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
 注2：大学入試センター試験の理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
 注3：大学入試センター試験の外国語で「英語」を選択した場合は、「筆記」と「リスニング」の配点比率を4：1とします。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を、素点として利用します。
 注4：教育文化学部および医学部保健学科のセンター試験欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。
 注5：教育文化学部学校教育課程教育実践コースおよび理数教育コースの個別学力検査欄の#印は、1科目等を選択するものです。
 注6：教育文化学部学校教育課程特別支援教育コースおよびこども発達コースならびに地域文化学科の個別学力検査欄の#印は、2教科を選択するものです。
 注7：理工学部のa・bにおける個別学力検査の試験問題は、同一のものです。

【後期日程】

学部・学科・課程等		試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	合計			
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)				900	1200		
		個別学力検査								300	300			
	資源地球科学コース	センター試験	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)					850	1050	
		個別学力検査								200	200			
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	センター試験 200×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	200×7/9					700	1000	
		個別学力検査						#300	#300			300		
		英語教育コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (200×1.0×1)					600		1000
		個別学力検査							200	200	400			
		理教教育コース	センター試験 200×8/13	100×8/13	(200×2)×8/13	(200×2)×8/13	200×8/13					800		1000
	個別学力検査								200	200				
	特別支援教育コース	センター試験 200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9						500	1000	
個別学力検査							250	250	500					
こども発達コース	センター試験 200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9						500	1000		
個別学力検査							250 [記述]	250	500					
地域文化学科	センター試験 200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3						600	900		
個別学力検査								300	300					
医学部	医学科	センター試験 150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)	150 (100×0.75×2)	200 (100×1.0×2)	150 (200×0.75×1)					700	1000		
		個別学力検査							100	200	300			
	保健学科	看護学専攻	センター試験 160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)					720	920	
		個別学力検査							100	100	200			
理学療法専攻 作業療法専攻	センター試験 140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)						630	1030		
個別学力検査							200	200	400					
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 創造生産工学コース 土木環境工学コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)					850	1050		
	個別学力検査								200	200				

注1：センター試験欄の()内は、大学入試センター試験の素点、傾斜率および科目数を示します。(素点×傾斜率×科目数)
 注2：大学入試センター試験の理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
 注3：大学入試センター試験の外国語で「英語」を選択した場合は、「筆記」と「リスニング」の配点比率を4：1とします。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験(200点満点)の成績を、素点として利用します。
 注4：教育文化学部および医学部保健学科のセンター試験欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。
 注5：教育文化学部学校教育課程教育実践コースの個別学力検査欄の#印は、1科目等を選択するものです。
 注6：教育文化学部学校教育課程こども発達コースの小論文欄は、記述問題の配点を示します。

9. 実技検査の内容

[前期日程]

教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

次の①，②を受験してください。

①共通問題……次の1)，2)を受験してください。

- 1) コールユーブンゲン No. 30～No. 59の中から当日1曲を指定します。
- 2) 聴音 8ないし12小節程度の単旋律の書き取り。

②選択課題……次の1)，2)，3)のうちから1つを選択して受験してください。

- 1) 次のア)，イ)の演奏
 - ア) ピアノ……任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）
 - イ) 声楽……コンコーネ50番のNo. 11～No. 15の中から，当日1曲指定します。
（母音唱，高声，中声用いずれも可）
- 2) 次のア)，イ)の演奏
 - ア) 声楽……下記の4曲の中から任意の1曲を選び，原語および暗譜で演奏
（2種類の調を指定してある曲は，どちらかの調を選択してください。）
 - a. 浜辺の歌 成田為三作曲 変イ長調（2番まで歌唱）
 - b. 出船 杉山長谷夫作曲 ト短調
 - c. Caro laccio F. Gasparini作曲 変ホ長調
 - d. Caro mio ben G. Giordani作曲 変ホ長調 ヘ長調※ 伴奏は大学教員が担当します。伴奏譜は大学で用意します。
 - イ) ピアノ……ツェルニー40番練習曲の中から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）
- 3) 次のア)，イ)の演奏
 - ア) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうち1つの楽器の任意の独奏曲（暗譜）
※ 独奏パート譜（楽器名を記入し，前期日程と明記したもの）を出願時に提出してください。
 - イ) ピアノ……ツェルニー40番練習曲の中から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）
※ 使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバは大学で用意します。
管楽器……フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ
弦楽器……ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器……マリンバ
和楽器……三味線，箏，尺八

【美術】

実技の内容：静物描写（3時間）

※ 出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。

- ①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

【体育】

次の運動種目①から⑩のうちから1種目を選択して受験してください。

- 運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②器械運動（跳び箱運動およびマット運動）
③バレーボール ④バスケットボール ⑤サッカー ⑥ハンドボール ⑦卓球
⑧柔道 ⑨ダンス ⑩基礎運動能力（シャトルラン，反復横とび，および握力）

注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※ 証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

[後期日程]

教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

次の①，②を受験してください。

①共通問題……次の1)，2)を受験してください。

- 1) コールユーブンゲン No.30～No.59の中から当日1曲を指定します。
- 2) 聴 音 8ないし12小節程度の単旋律の書き取り。

②選択課題……次の1)，2)，3)のうちから1つを選択して受験してください。

- 1) 次のア)，イ)の演奏
 - ア) ピアノ……任意の楽曲(暗譜，繰り返しなし)
 - イ) 声 楽……コンコーネ50番のNo.11～No.15の中から，当日1曲指定します。
(母音唱，高声，中声用いずれも可)
- 2) 次のア)，イ)の演奏
 - ア) 声 楽……下記の4曲の中から任意の1曲を選び，原語および暗譜で演奏
(2種類の調を指定してある曲は，どちらかの調を選択してください。)
 - a. 浜辺の歌 成田為三作曲 変イ長調 (2番まで歌唱)
 - b. 出船 杉山長谷夫作曲 ト短調
 - c. Caro laccio F.Gasparini作曲 変ホ長調
 - d. Caro mio ben G.Giordani作曲 変ホ長調 ヘ長調※ 伴奏は大学教員が担当します。伴奏譜は大学で用意します。
 - イ) ピアノ……ツェルニー40番練習曲の中から任意の1曲(暗譜，繰り返しなし)
- 3) 次のア)，イ)の演奏
 - ア) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうち1つの楽器の任意の独奏曲(暗譜)
※ 独奏パート譜(楽器名を記入し，後期日程と明記したもの)を出願時に提出してください。
 - イ) ピアノ……ツェルニー40番練習曲の中から任意の1曲(暗譜，繰り返しなし)
※ 使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバは大学で用意します。
管楽器……フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ
弦楽器……ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器……マリンバ
和楽器……三味線，箏，尺八

【美術】

実技の内容：静物描写(3時間)

※ 出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。

- ①鉛筆
- ②木炭
- ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

【体育】

次の運動種目①から⑧のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技(競走，跳躍，または投てき) ②バレーボール ③バスケットボール
④サッカー ⑤ハンドボール ⑥卓球 ⑦柔道 ⑧ダンス

注) 出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書(本学指定の様式)

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績(順位，タイムなど)などを証明する資料を添付すること。(記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。)

※ 証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。(いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。)

Ⅳ アドミッション・オフィス (AO) 入試 【理工学部】

1. 選抜関係日程

出願期間 : 平成29年 9月 7日 (木) ~ 9月13日 (水) (必着)
 試験日 : 平成29年 9月30日 (土)
 合格発表日 : 平成29年10月13日 (金)
 入学手続期間 : 平成29年10月19日 (木) ~ 10月24日 (火) (必着)

2. 出願要件

学 科	コ ー ス	募 集 人 員	出 願 要 件
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	5 人	次のいずれかに該当する者で、合格した場合入学を確約できる者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	4 人	
	材 料 理 工 学 コ ー ス	2 人	
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 学 科 コ ー ス	3 人	
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	10 人	
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	6 人	
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	8 人	
	創 造 生 産 工 学 コ ー ス	4 人	
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	2 人	

3. 選抜方法

講義と面接を実施し、提出書類、講義を受講した後に提出するレポートの結果、および面接の結果を総合的に評価して選抜します。なお、大学入試センター試験は課しません。

学 科	コ ー ス	個 別 学 力 検 査 等
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 [理科 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎のいずれかを選択) の基礎学力に関する試問を含む。]
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス 材 料 理 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (物理基礎, 化学基礎の基礎学力に関する試問を含む。)
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 学 科 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学 I, 数学 II の基礎学力に関する試問を含む。)
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。)
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*分野に関する知識についての質問を含む)
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス 創 造 生 産 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*, 物理基礎・物理の基礎学力に関する試問を含む。)
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	次に実施する検査の結果や提出書類を総合的に評価して選抜します。 ① 講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。 ② 面接 (数学*, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む。)

*数学 I, 数学 II, 数学 A, 数学 B とします。数学 I, 数学 II, 数学 A は高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学 B は「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

注: AO入試の詳細については、「AO入試学生募集要項」で必ず確認してください。

V 推薦入試

1. 選抜関係日程

[推薦入試Ⅰ] (大学入試センター試験を課さない)

出願期間 : 平成29年11月 1日 (水) ~ 平成29年11月 6日 (月) (必着)
 試験日 : 平成29年11月25日 (土)
 合格発表日 : 平成29年12月11日 (月)
 入学手続期間 : 平成30年 2月13日 (火) ~ 平成30年 2月14日 (水) (必着)

[推薦入試Ⅱ] (大学入試センター試験を課す)

出願期間 : 平成29年12月13日 (水) ~ 平成29年12月19日 (火) (必着)
 試験日 : 平成30年 1月18日 (木) 【医学部医学科】
 平成30年 1月19日 (金) 【全学部】
 合格発表日 : 平成30年 2月 5日 (月)
 入学手続期間 : 平成30年 2月13日 (火) ~ 平成30年 2月14日 (水) (必着)

2. 推薦入試出願時の注意

国公立大学の推薦入試 (大学入試センター試験を課す場合、課さない場合も含めて) への出願は、一つの大学・学部の推薦入試募集単位 (学科・課程・専攻・コース等) に限られています。本学の場合、教育文化学部学校教育課程教育実践コースの推薦入試Ⅰで不合格になった場合に、同一の学校教育課程教育実践コースの推薦入試Ⅱに出願できます。

なお、推薦入試で不合格になった場合に備えて、本学または他大学の一般入試に出願しておくことは差し支えありません。

3. 推薦の要件

[推薦入試Ⅰ]

学部	学科・課程等	募集人員	推薦の要件
教育	学校教育課程 教育実践コース	4人	次の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校 (特別支援学校の高等部を含む。) もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 (2) 教員を志望し、学業成績・人物ともに優れ、出身学校長 (高等学校長等) が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 調査書の保健体育の評定平均値が4.0以上の者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者
文化学部	地域文化学科	25人 うち 地域連携・国際交流 枠 5人程度	次の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校 (特別支援学校の高等部を含む。) もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 (2) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長 (高等学校長等) が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 調査書の学習成績概評がB段階以上 (全体の評定平均値が3.5以上) で、なおかつ、①国語、②地理歴史または公民、③外国語の3教科の評定平均値の平均が4.0以上の者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者 (5) 地域連携・国際交流枠に志願する場合、上記 (1) ~ (4) の条件に加え、地域連携活動あるいは国際交流活動に関して、継続的な活動実績 (1年以上) を有し、活動実績を客観的に確認できる根拠資料を提出でき、大学入学後も同様の活動を継続的に行う意思を持っている者。

[推薦入試Ⅱ]

学部	学科・課程等		募集人員	推薦の要件	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	3人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者(平成29年度の途中で卒業を認められる者を含む。) ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月修了見込みの者(平成29年度の途中で修了を認められる者を含む。) (2) (1)の学校における学業成績及び人物ともに優れ、出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に申し出ていない者	
		資源地球科学コース	5人		
		資源開発環境コース	5人		
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	8人	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 ③ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を平成30年3月修了見込みの者(③の要件は実技検査で受験する者に限る。) (2) 教員を志望し、人物等について出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 小論文で受験する者は調査書の学習成績概評がB段階以上(全体の評定平均値が3.5以上)で、なおかつ、国語、地理歴史、公民、または家庭いずれか1教科の評定平均値が4.0以上の者 (4) 実技検査で受験する者は造形表現能力が優れた者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に申し出ていない者	
		英語教育コース	2人		次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 (2) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 調査書の学習成績概評がB段階以上(全体の評定平均値が3.5以上)で、なおかつ、①国語、②地理歴史または公民、③外国語の3教科の評定平均値の平均が4.0以上の者のうち、本コースへの入学に固い意志を持ち、特に英語教育の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に申し出ていない者
		理数教育コース	4人		

学部	学科・課程等		募集人員	推薦の要件
教育文化学部	学校教育課程	こども発達コース	6人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 (2) 人物等について、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) (1)の学校における調査書の学習成績概評がB段階以上(全体の評定平均値が3.5以上)の者 (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者

学部	学科等	募集人員		推薦の要件
医学部	医学科	一般枠	20人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者（平成29年度の途中で卒業を認められた者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月修了見込みの者（平成29年度の途中で修了を認められた者を含む。） (2) 調査書の学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が4.3以上）に属する者のうち、本学科への入学に固い意志を持ち、特に医学の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者で、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者
		地域枠	秋田県地域枠 19人程度	次の(1)から(5)の各号の要件すべてに該当する者 (1) 秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を平成29年3月以降に卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 (2) 秋田県の修学資金の貸与を受け、かつ卒業後一定期間、秋田県内の公的医療機関等で医療に従事する強い意志を有する者 (3) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が4.3以上）の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者
		全国地域枠	5人程度 *下記参照	次の(1)から(5)の各号の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 秋田県外の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を平成29年3月以降に卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月以降に修了した者及び平成30年3月修了見込みの者 (2) 秋田県の修学資金の貸与を受け、かつ卒業後一定期間、秋田県内の公的医療機関等で医療に従事する強い意志を有する者 (3) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が4.3以上）の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者

* 【医学部医学科：秋田県地域枠、全国地域枠に関する事項】
地域枠の出願にあたっては、秋田県医学生修学資金制度を理解の上、出願してください。

秋田県医学生修学資金について
あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報、みてたんせ」→秋田県の医師支援策→
修学資金・研修資金 医学生修学資金【地域枠】
<http://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/detail.html?cid=6&id=35>
問い合わせ先：秋田県健康福祉部医務薬事課医師確保対策室 電話 018-860-1410

医学科の推薦入試Ⅱの募集人員は44人のうち一般枠20人、地域枠24人（秋田県地域枠19人程度、全国地域枠5人程度）となるよう申請予定ですが、今後変更となる場合があります。（P3参照）

学部	学科等	募集人員	推薦の要件
医学部	保健看護学専攻	20人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者（平成29年度の途中で卒業を認められる者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月修了見込みの者（平成29年度の途中で修了を認められる者を含む。） (2) 学力、人物ともに優秀な者で、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に願っていない者
		6人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者（平成29年度の途中で卒業を認められる者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月修了見込みの者（平成29年度の途中で修了を認められる者を含む。） (2) 学力、人物ともに優秀な者で、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に願っていない者
	5人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者（平成29年度の途中で卒業を認められる者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月修了見込みの者（平成29年度の途中で修了を認められる者を含む。） (2) 学力、人物ともに優秀な者で、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に願っていない者	

学部	学科等	募集人員	推薦の要件	
理工学部	生命科学科	生命科学コース	5人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成30年3月修了見込みの者 (2) 学業成績および人物ともに優れ、出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に願っていない者
		物質科学科	応用化学コース	
	材料理工学コース		8人	
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	2人	
		電気電子工学コース	7人	
		人間情報工学コース	2人	
	システムデザイン工学科	機械工学コース	7人	
		創造生産工学コース	2人	
		土木環境工学コース	9人	

4. 選抜方法

[推薦入試Ⅰ]【教育文化学部】

学科・課程等		選 抜 方 法 等	
学校教育課程	教育実践コース	選 抜 方 法	大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、志願理由書、小論文、実技検査(体育),および面接(口頭試問を含む)の結果を総合して判定します。
		個別学力検査等	小論文、実技検査(体育),および面接(口頭試問を含む) 注:小論文は英語の和訳を含みます。口頭試問は、国語、社会、保健体育の基礎学力について行います。
地域文化学科	一般枠	選 抜 方 法	大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、志願理由書、小論文および面接の結果を総合して判定します。
		個別学力検査等	小論文および面接(口頭試問を含む)
	地域連携・国際交流枠	選 抜 方 法	大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、志願理由書、地域連携・国際交流活動内容記載書、面接の結果を総合して判定します。
		個別学力検査等	面接(口頭試問を含む)

[推薦入試Ⅱ]

(1) 国際資源学部

選抜方法: 大学入試センター試験の成績, 調査書, 推薦書および面接の結果を総合して判定します。

【大学入試センター試験】

学科・科目		受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 名																													
		国語	地理歴史				公民			数学					理科				外国語												
学部・学科・コース		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
国際資源学部	国際資源学	資源政策コース	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	資源地球科学コース	②	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	資源開発環境コース	②	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎は必ず受験する科目, ×は本学では採用しない科目, ○および△は選択して受験を要する科目, その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし, △の科目については, 選択できる者に制限があります。

【国際資源学部における注意事項】

- ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。
- イ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には, 「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ウ 英語にはリスニングテストを含みます。なお, 「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については, 筆記試験(200点満点)の成績を素点として利用します。
- エ それぞれのバターのいずれかを満たすように受験してください。
- オ 資源政策コースの数学で, 2科目受験した場合は, 高得点の科目を合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科・コース		個 別 学 力 検 査 等	
国際資源学部	国際資源学	資源政策コース	面接(世界史, 日本史, 地理から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)
	資源地球科学コース	面接(物理 ^{※1} , 化学 ^{※2} , 地学 ^{※3} から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)	
	資源開発環境コース	面接(物理 ^{※1} , 化学 ^{※2} から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)	

面接における理科の試問の出題範囲は以下のとおりです。

※1 物理基礎, 物理 ※2 化学基礎, 化学 ※3 地学基礎, 地学

(2) 教育文化学部

選抜方法：大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文（教育実践コースは小論文または実技検査）および面接の結果を総合して判定します。

【大学入試センター試験】

教科・科目		受験を要する教科・科目名																														
		国語	地理歴史				公民				数学					理科				外国語												
学部・課程・コース	パターン	国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学 I	数学 I・数学 A	数学 II	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
		教育文化学部	教育学	教育実践コース	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	2				1				2				1				1															
②	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	2				1				2				1				1															
③	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	1				1				2				1				1															
英語教育コース	①		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1		1				1				2				1				1													
	②		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1		1				2				1				1																	
	理数教育コース		①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	1				1				2				1				1												
②			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1			1				1				2				1				1													
こども発達コース			①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			1	2				1				2				1				1												
	②		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1		2				1				2				1				1													
	③		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1		1				1				2				1				1													
④	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
1	1				1				2				1				1															
⑤	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	2				1				2				1				1															
⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
1	2				1				1				2				1															

◎は必ず受験する科目，×は本学では採用しない科目，○および△は選択して受験を要する科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし，△の科目については，選択できる者に制限があります。

【教育文化学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては，同一名称の A・B 出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には，「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお，「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については，筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち，「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・課程・コース		個別学力検査等	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	小論文および面接、または実技検査（美術）および面接
		英語教育コース	小論文（英文）および面接（英語スピーキングテスト）
		理数教育コース	面接（数学または理科の試問*を含む）
		こども発達コース	小論文および面接

*理数教育コースの面接について

- ・数学または理科から1科目を選択します。
- ・数学は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bとします。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。
- ・理科の場合は、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）、地学（地学基礎・地学）から1科目を選択します。

(3) 医学部

選抜方法：大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，志願理由書（医学科のみ），小論文（保健学科看護学専攻は除く。）および面接の結果を総合して判定します。

【大学入試センター試験】

学部・学科・専攻		受験を要する教科・科目名																														
		国語		地理歴史				公民				数学				理科				外国語												
パターン		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
医学部	医学科	◎	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		1					1							1		1								2				1				
	保健学科	看護学専攻	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
			1					1							1		1								2				1			
			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
			1					1							1		1								1				1			
		理学療法専攻 作業療法専攻	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
			1					1							1		1								2				1			
			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
			1					2							1		1								2				1			
	部科		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	
			1					2							1		1							2				1				

◎は必ず受験する科目，×は本学では採用しない科目，○および△は選択して受験を要する科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし，△の科目については，選択できる者に制限があります。

【医学部における注意事項】

- ア 地理歴史においては，同一名称のA・B出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には，「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお，「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については，筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち，「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とし，第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科等		個別学力検査等	
医学部	保健学科	医学科	小論文および面接
		看護学専攻	面接
		理学療法専攻	小論文および面接
		作業療法専攻	小論文および面接

(4) 理工学部

選抜方法：大学入試センター試験の成績と書類審査の結果を総合して判定します。

【大学入試センター試験】

教科・科目		受験を要する教科・科目名																													
		国語	地理歴史				公民			数学					理科					外国語											
学部・学科・コース	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
		理工学部	生命科学コース	①	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
1												1	1	2		1	1														
②	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1												1	1	2		2		1		1											
応用化学コース	①		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	1													1	1	2		1		1											
②	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1												1	1	2		2		1		1											
材料理工学コース	①		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	1													1	1	2		1		1											
②	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1												1	1	2		2		1		1											
数理科学コース	①		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1													1	1	2		1		1											
②	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1												1	1	2		2		1		1											
電気電子工学コース	①		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	1													1	1	2		1		1											
②	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1												1	1	2		2(物理含む)		1		1											
人間情報学コース	①		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	1													1	1	2		1		1											
②	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1												1	1	2		2		1		1											
機械工学コース	①	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	1												1	1	2		1		1												
②	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1												1	1	2		2(物理含む)		1		1											
創造生産工学コース	①	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	1												1	1	2		1		1												
②	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1												1	1	2		2(物理含む)		1		1											
土木環境工学コース	①	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	1												1	1	2		1		1												
②	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1												1	1	2		2(物理含む)		1		1											

○は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【理工学部における注意事項】

- ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科（理数科を除く。）または総合学科の卒業（見込み）者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- イ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ウ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- エ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

【個別学力検査等】

学部・学科・コース		個別学力検査等
理工学部	生命科学科	生命科学コース 書類審査
	物質科学科	応用化学コース 書類審査
		材料理工学コース 書類審査
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース 書類審査
		電気電子工学コース 書類審査
		人間情報学コース 書類審査
	システムデザイン工学科	機械工学コース 書類審査
		創造生産工学コース 書類審査
		土木環境工学コース 書類審査

5. 大学入試センター試験および個別学力検査等の配点【推薦入試Ⅱ】

学部・学科・課程等		試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	書類審査	合計		
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		100 (100 × 1.0 × 1)		200 (200 × 1.0 × 1)					500	800	
		個別学力検査								300		300		
	資源地球科学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	1100	
		個別学力検査								300		300		
	資源開発環境コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	1100	
		個別学力検査								300		300		
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	センター試験 200 × 2/3	※100 × 2/3 ※100 × 2/3	※100 × 2/3 ※100 × 2/3	※100 × 2/3 ※100 × 2/3	200 × 2/3					600	1000	
		個別学力検査						#200	#200	200		400		
		英語教育コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)	100 (100 × 1.0 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)	200 (200 × 1.0 × 1)						600	1000
		個別学力検査							200	200		400		
	理数教育コース	センター試験	200 × 7/9	100 × 7/9	200 × 7/9	200 × 7/9	200 × 7/9						700	1000
		個別学力検査									300		300	
		こども発達コース	センター試験 (200 × 0.5 × 1)	100 (100 × 0.5 × 1)	※50 ※50 (100 × 0.5 × 1)	※50 ※50 (100 × 0.5 × 1)	※50 ※50 (100 × 0.5 × 1)	100 (200 × 0.5 × 1)					450	750
		個別学力検査							200	100		300		
医学部	医学科	センター試験 (200 × 0.5 × 1)	100 (100 × 0.5 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)	100 (100 × 0.5 × 2)	100 (100 × 0.5 × 2)	100 (200 × 0.5 × 1)					450	700	
		個別学力検査							100	150 調査書を含む		250		
	看護学専攻	センター試験 (200 × 0.8 × 1)	160 (200 × 0.8 × 1)	80 (100 × 0.8 × 1)	160 (100 × 0.8 × 2)	80 (100 × 0.8 × 1)	160 (200 × 0.8 × 1)						640	840
		個別学力検査								200 調査書120を含む		200		
	保健学科	センター試験 (200 × 1.0 × 1)	200 (200 × 1.0 × 1)	※100 ※100 (100 × 1.0 × 1)	200 (100 × 1.0 × 2)	※100 ※100 (100 × 1.0 × 1)	200 (200 × 1.0 × 1)						900	1300
		個別学力検査							200	200 調査書100を含む		400		
	作業療法学専攻	センター試験 (200 × 0.7 × 1)	140 (200 × 0.7 × 1)	※70 ※70 (100 × 0.7 × 1)	140 (100 × 0.7 × 2)	※70 ※70 (100 × 0.7 × 1)	140 (200 × 0.7 × 1)						630	1030
		個別学力検査							200	200 調査書を含む		400		
理工学部	生命科学科	生命科学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)					800	850	
		個別学力検査									50	50		
	物質科学科	応用化学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850
		個別学力検査									50	50		
	材料理工学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850	
		個別学力検査									50	50		
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850
		個別学力検査									50	50		
		電気電子工学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850
		個別学力検査									50	50		
		人間情報工学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850
		個別学力検査									50	50		
システムデザイン工学科	機械工学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850	
	個別学力検査									50	50			
	創造生産工学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850	
	個別学力検査									50	50			
土木環境工学コース	センター試験 (200 × 1.0 × 1)		200 (100 × 1.0 × 2)	200 (100 × 1.0 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)						800	850		
個別学力検査									50	50				

注1：センター試験欄の（ ）内は、大学入試センター試験の素点、傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
 注2：大学入試センター試験の理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
 注3：大学入試センター試験の外国語で「英語」を選択した場合は、「筆記」と「リスニング」の配点比率を4：1とします。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を、素点として利用します。
 注4：教育文化学部および医学部保健学科のセンター試験欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。
 注5：教育文化学部学校教育課程教育実践コースの個別学力検査欄の#印は、1つを選択するものです。

6. 実技検査の内容

[推薦入試Ⅰ]【教育文化学部】

学校教育課程 教育実践コース

【体育】

次の運動種目①から⑦のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②バレーボール ③サッカー
④ハンドボール ⑤卓球 ⑥柔道 ⑦ダンス

注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※ 証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

[推薦入試Ⅱ]【教育文化学部】

学校教育課程 教育実践コース

【美術】

実技の内容：基礎的な立体および平面の造形（3時間）

※実技検査に必要なものは本学で用意します。

VI 私費外国人留学生入試

1. 選抜関係日程

学 部	出願受付期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
国際資源学部	平成29年(2017年)	平成30年(2018年)	平成30年(2018年)	平成30年(2018年)
教育文化学部	12月 20日 (水)	1月19日 (金)	2月5日 (月)	2月13日 (火)
理 工 学 部	12月 22日 (金) (必着)			2月14日 (水) (必着)
医 学 部	平成30年(2018年)	平成30年(2018年)	平成30年(2018年)	平成30年(2018年)
	1月22日 (月) 1月31日 (水) (必着)	2月25日 (日) 26日 (月) (保健学科は25日のみ)	3月 7日 (水)	3月14日 (水) 3月15日 (木) (必着)

2. 出願要件

- ・国際資源学部を志願する者は次の(1)から(5)のすべてに該当する者
 - ・教育文化学部、医学部および理工学部を志願する者は次の(1)から(3)および(5)のすべてに該当する者
 - (1) 日本国籍を有しない者(※1)
 - (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(2018年3月31日まで修了見込みの者を含む。)またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑤ グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの(※2)
 - (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度(2017年度)日本留学試験(本学が指定する教科・科目)を受験した者
 - (4) TOEICまたはTOEFLを平成28年(2016年)1月以降に受験した者
 - (5) 出入国管理および難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者または取得できる見込みの者
- ※1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます。)を卒業した者、または同等以上の資格を得た者、および日本の永住許可を得ている者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。ただし、外国の教育機関における修学を主としてきた者で、日本の高等学校に編入し、修了または修了見込みで、一般入試による受験が著しく困難と認められる場合は「私費外国人留学生入試」への出願を認める場合がありますので、該当すると思われる方は出願期間前に必ず入試課へご照会ください。
- ※2 個別の資格審査を要する場合は、74~75ページを参照の上、下記期日までに申請してください。

申請受付期限:平成29年(2017年)10月30日(月)(必着)

3. 選抜方法

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査等および平成29年度(2017年度)日本留学試験(6月または11月実施の試験を利用)の結果、平成28年(2016年)1月以降に受験したTOEICまたはTOEFLの成績(国際資源学部のみ)を総合して判定します。

4. 入学者選抜の実施教科・科目等

学部	学科・課程・専攻・コース	個別学力検査等	募集人員	日本留学試験の利用科目					TOEIC または TOEFL のスコア
				日本語	総合科目	数 学	理 科	出題言語	
国際資源学部	国際資源学科 資源政策コース	面接	5	○	○	○ (コースは 自由選択)	×	日本語	○ 5. ③ 参 照
	資源地球科学コース	面接(理科(物理, 化学, 地学から1科目選択)に関する口頭試問を含む)		○	×	○ (コース2)	○ (物理, 化学)	日本語	
	資源開発環境コース	面接(理科(物理, 化学から1科目選択)に関する口頭試問を含む)		○	×	○ (コース2)	○ (物理, 化学)	日本語	

学部	学科・課程・専攻・コース		個別学力検査等	募集人員	日本留学試験の利用科目					TOEIC または TOEFL のスコア
					日本語	総合科目	数 学	理 科	出題言語	
教育 文化 学部	学 校 教 育 課 程	教育実践コース	「実技検査(音楽・美術・体育から1)および面接」または「小論文および面接」	若干名	○	○	×	×	日本語	×
		英語教育コース	小論文(英文)および面接(英語スピーキングテスト)		○	○	×	×	日本語	
		理数教育コース	面接(数学と理科に関する口頭試問を含む)		○	×	○ (コース2)	○ (2科目 自由選択)	日本語	
		特別支援教育コース	小論文および面接		○	○	×	×	日本語	
		こども発達コース	小論文および面接		○	○	○ (自由選択)	×	日本語	
	地域文化学科	小論文および面接	○		△	○ (コースは 自由選択)	△ (2科目 自由選択)	日本語	△から1つ選択	
医学 部	医 学 科	数(数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ 数A, 数B) 英(コミュニケーション 英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, 英語表現Ⅰ, Ⅱ) 面接	若干名	○	×	○ (コースは 自由選択)	○ (2科目 自由選択)	自由選択	×	
	保健 学科	看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	若干名	○	×	○ (コースは 自由選択)	○ (2科目 自由選択)	自由選択		
理工 学部	生 命 科 学 科	面接	若干名	○	×	○ (コース2)	○ (2科目 自由選択)	自由選択	×	
	物 質 科 学 科 数理・電気電子情報学科 システムデザイン工学科			○	×	○ (コース2)	○ (物理・化学)	自由選択		

注1) ○は利用する科目, ×は利用しない科目, △は選択科目を表します。

2) 本学では, 大学入試センター試験を課しません。

3) 日本留学試験についての照会先

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

5. 注意事項

- ① 学部により出願要件や試験日が異なりますので, 間違えないように注意してください。
- ② 出入国管理および難民認定法に定める「留学」の在留資格を有せず, かつ入学後に取得できる見込みのない者は, 在学中の修学に支障をきたすことがありますので, 事前に照会してください。
- ③ 国際資源学部を志願する者は, 平成28年(2016年)1月以降に受験した TOEIC または TOEFL の成績証明書を出願期間内に提出する必要があります。(TOEIC-IP, TOEFL-ITPは認められません。)

【TOEICスコアの提出方法】

「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本を他の出願書類と一緒に提出してください(コピー不可)。原本は確認後, 受験票と共に返送します。

【TOEFLスコアの提出方法】

「Official Score Report」(公式スコア票)を, 出願期間最終日までに本学に到着するよう ETS (Educational Testing Service) から直送する手続きを行ってください。直送する際に必要な秋田大学のDIコードは「7519」です。

※Official Score Report は発行までに時間がかかりますので, 早めに手配してください。出願期間内に到着しなかった場合は, 書類不備のため出願を受理しません。

- ④ 私費外国人留学生入試の詳細については, 「私費外国人留学生入試学生募集要項」で必ず確認してください。

Ⅶ 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試

「渡日前入学許可制度」とは、日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」（日本国外にて受験したものの）の成績およびその他の出願書類（高校の成績、TOEFL等）により審査を行い、合格者の入学を許可する制度です。

この制度を利用すれば、受験者は日本で試験を受けることなく入学許可を得ることが可能となります。

1. 選抜関係日程

出願期間：平成29年（2017年） 7月31日（月）～ 8月 4日（金）（必着）

合格者の発表：平成29年（2017年） 11月10日（金）

入学手続期間：平成29年（2017年） 11月27日（月）～ 12月 1日（金）（必着）

2. 出願要件

次の(1)から(4)のすべてに該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（2018年3月31日まで修了見込みの者を含む。）またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度（2017年度）日本留学試験（本学が指定する教科・科目）を受験した者
- (4) 出入国管理および難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または取得できる者

3. 選抜方法

入学者の選抜は、提出書類および日本留学試験（2017年6月実施の試験を利用）の結果を審査し、これをもって可否を判断します。

4. 募集人員および入学者選抜の実施教科・科目等

学部	学科	コース	募集人員	個別学力検査等	日本留学試験の利用科目				
					日本語	総合科目	数学	理科	出題言語
理工学部	生命科学科	生命科学コース	若干名	書類審査	○	×	○ (コース2)	2科目自由選択	自由選択
		物質科学科						応用化学コース	
	材料理工学コース								
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース							
		電気電子工学コース							
		人間情報工学コース							
	システムデザイン工学科	機械工学コース							
		創造生産工学コース							
土木環境工学コース									

注1) ○は利用する科目、×は利用しない科目を表します。

2) 日本留学試験についての照会先

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

※渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試の詳細については、「渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試学生募集要項」で必ず確認してください。

VIII 秋田大学の理念と基本的な目標

基本理念

- 国際的な水準の教育・研究を遂行します。
- 地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与します。
- 国の内外で活躍する有為な人材を育成します。

基本的な目標

1. 教育においては、質の国際通用性を高め、地域と世界の諸課題の解決に取り組む人材を育成する。
2. 研究においては、地域の特性を活かした研究とグローバルな課題に対応する研究に取り組むことにより、イノベーションの創出を推進し、その成果を継続的に地域と世界に発信する。
3. 社会連携においては、教育研究成果を地域社会に還元し、地域と協働した地域振興策の取組を推進するとともに、地域医療の中核的役割を担う。
4. 国際化においては、資源産出国を中心とした諸外国の留学生・研究者との学術交流を推進するとともに、学生や教職員の海外留学・派遣を促進する。
5. 大学経営においては、学長主導の下、学生及び教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透させ、透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指す。

『全学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

秋田大学では、21世紀の日本ならびに国際社会において、指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は、学生が幅広い教養と深い専門性、そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。

このような目標のもと、次のような資質や意欲をもった人を、入学者として求めています。

1. 学問への探求心を持ち、その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
2. 学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
3. 地域社会や国際社会の諸課題を理解し、その解決に寄与したい人

『各学部・課程・学科等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

学部、学科、課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の項目によって成り立っており、入学を希望する人に求める能力や資質を具体的に示しています。

●育てる人間像と求める人物像

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

●入学者選抜の基本方針（どのような力を評価するか）

●入学者選抜における重点評価項目

※学力の3要素

- ・「基礎的な知識・技能」
- ・「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力」
- ・「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」

●私費外国人留学生入試

【国際資源学部】

[国際資源学科]

◆育てる人間像

国際資源学部では、地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源技術と将来の資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決のためにねばり強く探求し柔軟に思考できる人
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな分野へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国 語—多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力、表現力、読解力
英 語—国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力、表現力、読解力
数学・理科—自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
地 理 歴 史—世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さや理解力

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、かつ日本語および外国語（英語）の文章からの確に情報を読み取る読解力と論理的表現力に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等では国語および外国語（英語）を課すことで「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を重視した評価を行い、資源政策コースがカバーする専門分野を学ぶために必要な知識と思考力、表現力を備えた人を総合的に選抜します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、背景となる世界地理および歴史の基礎知識を持ち、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として地理歴史の口頭試問を含めた面接を課して「知識・教養」に加えて、学ぶことへの「関心・意欲」と「表現力」を重視した評価を行います。資源政策コースがカバーする専門分野を学ぶために必要な知識と思考力、専門分野への関心の高さおよび表現力・コミュニケーション力を備えた人を総合的に選抜します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち、資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として地理歴史の口頭試問を含めた面接を課して「知識・教養」に加えて、学ぶことへの「関心・意欲」と「表現

力」を重視した評価を行います。資源政策コースがカバーする専門分野を学ぶために必要な知識と思考力、専門分野への関心の高さおよび表現力・コミュニケーション力を備えた人を総合的に選抜します。

●**入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）**

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○	○	○	
調査書 推薦書(推薦入試)	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○				○

《資源地球科学コース》

●**求める人物像**

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—文章を読む読解力，論理的な思考力，自分の考えを表現できる表現力
- 英語—英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念の理解と計算力
- 地理歴史—国内外で活躍するために必要な基本的な知識，教養
- 理科—物理，化学，生物，または地学分野の内容の理解と科学的探究心

●**入学者選抜の基本方針**

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と学習意欲を有し、科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「幅広い知識と教養」を評価し、個別学力検査等として数学、理科、外国語（英語）を課して「科学的・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と学習意欲を有し、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「幅広い知識と教養」を評価し、個別学力検査等として理科（物理、化学、地学から選択）の口頭試問を課して「専門分野についての関心と意欲」、「理科の基礎知識と探究心」「論理的に考え、説明できる、思考力、判断力、表現力」「協働性などの人間性」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「幅広い知識と教養」を評価し、個別学力検査等として理科（物理、化学、地学から選択）の口頭試問を含めた面接を課して「専門分野についての関心と意欲」、「理科の基礎知識と探究心」、「論理的に考え、説明できる、思考力、判断力、表現力」、「協働性などの人間性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○	○	○	○
調査書 推薦書(推薦入試)	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○				○

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語・英語—国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力
- 数 学—「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解と数学的応用力，論理的な思考力
- 地歴・公民—地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・経済などを通じた考察力
- 理 科—物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活用と思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲を有し，科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価し，個別学力検査等では数学，理科，外国語（英語）を課すことで「知識と思考力」を重視した評価を行います。資源開発環境分野の専門領域を学ぶために必要な知識と思考力，判断力を備えた人を総合的に選抜します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲，知的好奇心を有し，かつ自らの考えを論理的かつ的確に表現できる人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価し，個別学力検査等では理科（物理，化学から選択）の口頭試問を含めた面接を課して「思考力・表現力」に加え，学ぶことに対する「意欲・主体性・協働性」を重点的に評価します。資源開発環境分野の専門領域を学ぶために必要な知識と思考力，判断力，専門分野への関心の強さ，表現力や説明力，学習意欲を有する人を総合的に選抜します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価し，個別学力検査等では理科（物理，化学から選択）の口頭試問を含めた面接を課して「知識・教養」，「思考力・表現力」，「関心・意欲・態度」，「主体性・協働性」を評価します。資源開発環境分野を学ぶために必要な知識と能力，学習意欲を有する人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区	関心・意欲・態度	表現力	知 識 教 養	思考力判断力	協働性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
面 接 (口頭試問含む)	推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○	○	○	○
調 査 書 推薦書 (推薦入試)	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○				○

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

[学校教育課程]

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術、幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

《教育実践コース》

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
- 保健体育・芸術—実技実践能力を養うために求められる知識、技術力や表現力

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、学校教育を広い視野から論理的・実践的に学ぶための能力を備えた人を求めます。そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科と実技検査（音楽、美術、体育）をあわせた4教科等から1教科等を課して「学校教育を考え実践するための思考力・判断力と技能・表現力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、教員として学校教育の課題に積極的に取り組むうえでの、論理的思考能力や技能を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文または実技検査（音楽、美術、体育）を課して「読解力、論理的思考能力、発想力、文章表現力、および技能・表現力」を評価します。

《推薦入試 I》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、論理的思考能力と保健体育分野で優れた能力を有し、豊かな人間性と教員になる強い意志を持つ人を求めます。

そのため、個別学力検査等として小論文、実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）を課して「理解力・論理的思考能力・文章表現力、運動技能、意欲、および基礎的教養」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力を持つとともに高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、論理的思考能力や美術の分野で優れた能力を有し、教員になる強い意志を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として「小論文および面接」または「実技検査（美術）および面接」を課して「教員に求められる基礎的教養とコミュニケーション能力、教育に対する情熱と意欲および技能」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性	技能
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○		
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○		
個別学力検査 《実技》	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○	○				○
小論文	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○	○	○		
面接 (口頭試問含む)	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ	○	○	○	○	○	
調査書 推薦書(推薦入試)	推薦入試Ⅰ 推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○	
実技検査調書・ 志願理由書	推薦入試Ⅰ 前期日程 後期日程	○				○	

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語教育を広い視野から理論・実践的に学ぶ意欲を持ち、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、英語（リスニングを含む）の2教科および面接（英語スピーキングテスト）を課して「日本語による論理的な思考力、英語による論理的な理解力・表現力、英語教育に対する関心・意欲、主体性と協働性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語における論理的な思考力および豊かな発想に基づく表現力を強みとして、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文（英文）および面接（英語および日本語）を課して「大学での学習に必要とされる言語に関する読解力・表現力・論理的思考力、および英語教育に対する関心・意欲、主体性と協働性」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、高等学校等において優れた学業成績を修め、かつ英語による論理的な思考力および表現力を強みとして、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文（英文）および面接（英語スピーキングテスト）を課して「英語による論理的な思考力、豊かな表現力、国際的視野、英語教育に対する関心・意欲」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○		○	○
調査書 推薦書(推薦入試)	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学(数学Ⅲを含む)の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生

き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、
 および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

大学入試センター試験に加えて、個別学力検査等として数学または理科のうちから1教科を課して、「数学・自然科学に関する知識・技能，論理的思考力，判断力，表現力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

大学入試センター試験で「知識・技能，思考力，判断力」を評価し、個別学力検査等として面接を課して「表現力，意欲，関心，態度」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力を持つとともに高等学校等において優れた学業成績を修め、なおかつ理数教育コースでの学習および教員の仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・技能，思考力，判断力」を評価し、個別学力検査等として数学あるいは理科の試問を含む面接を課して、「論理的思考力，表現力，理数教育に対する関心・意欲」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
面接 (試問含む)	推薦入試Ⅱ	○	○	○	○	○
面接	後期日程	○	○		○	
調査書 推薦書(推薦入試)	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と読解，表現，論理的思考に十分な能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し，個別学力検査等として国語，数学，英語の3教科から2教科を課して「大学での学習に必要とされる基礎的知識と，言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力，他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し，個別学力検査等として小論文および面接（口頭試問を含む）を課して「他者と協働して物事に取り組む態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
小論文	後期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程	○		○	○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育・心理支援に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や，子どもへの心理発達の支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、読解、表現、論理的思考に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科から2教科を課して「大学での学習に必要なとされる基礎的知識と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、資料の分析と読解および自分の考えの表現に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として記述問題および面接（口頭試問を含む）を課して「資料の分析と読解および自分の考えを表現する能力と、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に対する関心と意欲」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に高い関心と意欲を持つとともに、論理的思考力、読解力、表現力に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文と面接を課して「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に対する関心・意欲と、論理的思考力、読解力、表現力」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
記述問題	後期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○	○	○	○
調査書 推薦書(推薦入試)	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

高等学校等で学ぶ全科目のバランスのとれた基礎知識を有し、さらに読解力や語学力、論理的思考についてより高い能力を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科から2教科を課して「大学での学習に必要なとされる基礎的知識と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、日本語による表現力と自己の見解を論理的かつ説得力を持って展開する能力を有する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文を課して「幅広い知識・教養に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力」を評価します。

《推薦入試Ⅰ》

豊かで個性的な人間性を持ち、高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、かつ論理的思考力や表現力を持つとともに地域貢献に強い関心を持ち、行動しているあるいはしようとする人を求めます。

そのため、個別学力検査等として、一般枠は小論文および面接（口頭試問を含む）、地域連携・国際交流枠は面接（口頭試問・プレゼンテーションを含む）を課して「幅広い知識・教養に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、コミュニケーション能力および地域貢献への意欲」を評価します。

※地域連携・国際交流枠とは、主体的・積極的に地域の方々と連携した活動や国際交流活動を継続的（1年以上）に行なっている人を受け入れる募集枠です。

地域連携活動とは地域社会の人々との協働という要素を含む活動を意味します。想定される具体例のいくつかを挙げます。

○地域の人々と協働して祭の企画・運営・実行などの活動に参加している。

○地域ボランティアとして継続的に施設訪問などを行っている。

○地域のスポーツ団体等で指導やその補助を行っている。

国際交流活動としては以下のようなものが想定されます。

○海外留学や留学生の受け入れを体験し、その後も継続的に交流活動を続けている。

○地域の団体等において定期的に地域の外国人との交流活動を行っている。

ただし、学校での部活動としての活動や、地域の方々との協働性あるいは外国人との交流性が低い活動は、この枠に該当しません。

また、高校時代とは異なる活動になっても構いませんが、大学入学後も地域連携活動あるいは国際交流活動を継続することが条件となっています（入学後も、毎年活動報告書の提出を課します）。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識 教養	思考力 判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
小論文	推薦入試 I 後期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	推薦入試 I	○		○	○	○
調査書 推薦書 (推薦入試)	推薦入試 I 前期日程 後期日程	○		○		○
志願理由書 活動内容記載書	推薦入試 I	○	○	○		○

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では、豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1. 病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2. 医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3. 素直で協調性に富み、周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

[医学科]

●求める人物像

1. 地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人
2. 基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3. 大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
- 英語—国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
- 数学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力
- 地歴・公民—将来、地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養
- 理科—「生物」「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
- その他—ストレスに負けない体力と精神力、周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

論理的思考能力と国際性に優れ、医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に、地域医療への理解、医学に対する知的関心と学習意欲、社会貢献への意欲を有する学生を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として、英語および数学の2教科と面接を課して「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」「将来性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

幅広い人間的視野を備え、人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性、資質、意欲を備えた人材を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」「協調性」「将来性」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において学業その他に優れた成績を修め、感性豊かな人間性を持ち、他者に対するいたわりと共感する心を有するとともに、医療・医学への研究志向を有する知的好奇心に満ちた学生を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」「協調性」「将来性」を評価します。

地域枠による選抜については、秋田県修学資金受給の意思、卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲、地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲の有無を重視して選抜します。

●**入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）**

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協調性	将来性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○	○		
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○		
小論文	推薦入試Ⅱ 後期日程	○	○	○	○		
面接	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○	○		○	○	○
調査書 推薦書（推薦入試）	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○				○	○

[保健学科]

《看護学専攻》

●**求める人物像**

1. 看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2. 豊かな人間性と協調性を備え、高い倫理性を育ていける人
3. 十分な基礎学力を持ち、探究心を持って主体的に学習できる人

※**高等学校等で修得すべき具体的な内容**

- 国語—文章の的確な理解と論理的に思考し表現する力、およびコミュニケーション能力
- 英語—読解・表現に関わる幅広い基礎知識と英語でコミュニケーションをとろうとする積極性
- 数学—数学の基本的原理・法則の理解、正確な計算力と論理的な思考力
- 地歴・公民—地域社会の地理的・歴史的背景や仕組みを理解する力と社会情勢の変化に対する関心
- 理科—生命現象や自然の諸現象を科学的に考察し説明する能力

●**入学者選抜の基本方針**

《**一般入試（前期日程）**》

十分な基礎学力を持ち、かつ科学的根拠に基づいた思考力、看護の実践ができる資質を備えた人を求めます。同時に国際的な視野を持ち、知的関心度が高く、かつ人間性に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として英語と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

《**一般入試（後期日程）**》

十分な基礎学力を持ち、地域における保健医療活動への理解と共感を持ち、論理性を備え幅広い人間性を持った看護職となりうる資質と意欲を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

《**推薦入試Ⅱ**》

十分な基礎学力を持ち、看護学に対する興味と学習意欲を持ち、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修めた人を求めます。さらに、基本的コミュニケーション能力と他者に対して共感する心を持った協調性のある人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として面接を課し、調査書を加えて「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識	思考力判断力	協調性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○		
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
小論文	後期日程		○		○	
面接	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○	○		○	○
調査書 推薦書（推薦入試）	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1. 理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2. 地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3. グローバルな視野を持ち、科学的探究心の強い人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語・英語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力
- 数 学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解、計算力と論理的な思考力
- 地歴・公民－地域や国際社会で良識を持った人間として活躍するために必要な知識や素養
- 理 科－一般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理学療法士としての適性、科学的・論理的思考能力とグローバルな視野を持った人を求めます。特に人間の理解と障害のある人への関心度の高い人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、英語と面接を課して「論理性・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理学療法士としての資質、意欲そして幅広い人間的視野を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課して「思考・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち、理学療法学に対する興味と学習意欲を持ち、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、人間性に優れ、保健・医療・福祉に対して関心の高い人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課し、調査書を加えて「思考・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識	思考力判断力	協調性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○		
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
小論文	推薦入試Ⅱ 後期日程		○		○	
面接	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○	○		○	○
調査書 推薦書（推薦入試）	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1. 作業療法学に興味・関心があり、学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2. 国際的な視野を持ち、科学的探究心の強い人
3. 他者をよく理解し、細やかな配慮や行動・発言ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力

数 学—数学の基本的な概念や原理の理解、計算力と論理的な思考力

地歴・公民—将来、地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な幅広い知識と教養
理 科—一般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち、作業療法士としての資質と国際的な視野を持った人を求めますが、特に欧米から発展してきた作業療法学の論理を理解する潜在能力のある人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、英語と面接を課して「英語の学力と対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち、作業療法士としての資質を備えた人を求めますが、特に豊かな人間性と論理的思考能力を併せ持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課して「論理的な思考能力と対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち、作業療法学に対する興味と学習能力を持ち、かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、人間性に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課し、調査書を加えて「人間性と作業療法学に対する興味・関心、論理的な思考能力および対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識	思考力判断力	協調性
センター試験	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程			○		
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
小論文	推薦入試Ⅱ 後期日程		○		○	
面接	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○	○		○	○
調査書 推薦書（推薦入試）	推薦入試Ⅱ 前期日程 後期日程	○		○		○

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

1. 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
3. 研究者や科学技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[生命科学科]

《生命科学コース》

●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

生命科学に関する幅広い知識と高い論理的思考力を持ち、生命科学分野における種々の課題に意欲的に取り組み、科学的に解決できる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

生命科学に関する幅広い知識と高い論理的思考力を持ち、生命科学分野における種々の課題に意欲的に取り組み、科学的に解決できる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から受験者が選択する1科目について基礎的な試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において優秀な成績を修め、生命科学分野に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 (教科のみ)	前期日程			○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

[物質科学科]

《応用化学コース》

●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力、論理的な構成能力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、化学による地域社会と国際社会の豊かな発展に貢献したい人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・

判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、応用化学の知識を生かした機能性物質の設計や新しい化学反応プロセスの開発に強い興味を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において優秀な成績を修め、応用化学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

《材料理工学コース》

●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
 理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」における内容の理解と科学的思考力
 国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
 そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持った人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、材料科学を生かした新産業創生や社会貢献に対する意欲を持った人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において優秀な成績を修め、材料科学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○

自己アピール書	AO入試	○	○	○
提出レポート	AO入試	○	○	
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○	○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ			○

[数理・電気電子情報学科]

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学，物理学，計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，読解力，思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，数学，物理学，計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」，「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で，数学と理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」，「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，数学，物理学，計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」，「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で，面接（数学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」，「表現力」，「知識・教養」，「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

数学，物理学，計算機科学に対する強い関心と学習意欲を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，提出書類で「関心・意欲・態度」，「表現力」，「知識・教養」，「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」，「表現力」を評価します。面接（数Ⅰ，数Ⅱの基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」，「表現力」，「知識・教養」，「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校において優秀な成績を修め，数学，物理学，計算機科学に強い関心を持ち，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」，「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」，「表現力」，「知識・教養」，「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区 分	関心・意欲・態度	表現力	知識 教 養	思考力 判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

《電気電子工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー、創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信や医療機器、社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と電気電子工学への高い関心を持ち、特に数学と理科の能力に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、電気電子工学に対して高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（「物理基礎・物理」の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（数学、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において優秀な成績を修め、電気電子工学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 (教科のみ)	前期日程			○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

《人間情報工学コース》

●求める人物像

1. 感性が豊かで、論理的思考に習熟し、対象を広く、また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す、意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、ヒトとコンピュータとの関わりに興味を有している人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、周囲と協調した勉学のできる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（数学分野に関する知識についての質問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（数学分野に関する知識についての質問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において優秀な成績を修め、情報通信技術と数理系の学問に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

[システムデザイン工学科]

《機械工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり、工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計、力学、制御を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 持続的社会形成の必要性を理解し、創造的な機械開発にチャレンジしたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」における内容の理解と数学的思考力

理 科—「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」における内容の理解と科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力, 読解力, 思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な, 地理歴史, 公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理数系の能力に優れた、機械工学に意欲的に取り組むことのできる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」,「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」,「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理数系の能力に優れた人あるいは勉学意欲が旺盛な人で、機械工学に意欲的に取り組むことのできる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」,「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（数学,「物理基礎・物理」の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」,「表現力」,「知識・教養」,「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性, ②理工学部で学ぶことに強い意欲, ③地域や世界の発展に強い関心, を持っている人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」,「表現力」,「知識・教養」,「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」,「表現力」を評価します。面接（数学, 物理基礎・物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」,「表現力」,「知識・教養」,「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、機械工学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」,「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」,「表現力」,「知識・教養」,「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程 AO入試	○	○	○	○	

調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○	○	○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○
自己アピール書	AO入試	○	○	○
提出レポート	AO入試	○	○	
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○	○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ			○

《創造生産工学コース》

●求める人物像

1. 数学や理科系科目が好きで学習意欲があり、基礎学力をさらに身につけたい人
2. 機械工学や宇宙工学を学び、「ものづくり」のための工学基礎力を身につけたい人
3. プロジェクト遂行体験を通して実践力と創造性を高め、新しい分野に挑戦したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」における内容の理解と科学的思考力
国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理数系の能力に優れ、創造的なものづくりに意欲的に取り組むことのできる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理数系の能力に優れた人あるいは勉学意欲が旺盛な人で、創造的なものづくりに意欲的に取り組むことのできる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（数学、「物理基礎・物理」の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（数学、物理基礎・物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め、創造的なものづくりに強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 (教科のみ)	前期日程			○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

《土木環境工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」における内容の理解と科学的思考力
国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、数学や物理などの自然科学の知識を自然現象や社会現象の理解に活用し、社会基盤の整備と発展に活かしたい人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、数学や物理などの自然科学、人文科学および社会科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、

面接（数学、「物理基礎・物理」の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《アドミッション・オフィス（AO）入試》

①きらりと光る個性，②理工学部で学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，提出書類で「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。講義を受講した後に提出するレポートで「関心・意欲・態度」、「表現力」を評価します。面接（数学，物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《推薦入試Ⅱ》

高等学校等において優秀な成績を修め，自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に強い関心を持ち，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等では提出書類を審査し「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程 推薦入試Ⅱ			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程 AO入試	○	○	○	○	
調査書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○		○		○
推薦書	AO入試 推薦入試Ⅱ	○				○
自己アピール書	AO入試	○	○			○
提出レポート	AO入試	○	○			
志願理由書	推薦入試Ⅱ	○	○			○
課外活動報告書	推薦入試Ⅱ					○

私費外国人留学生入試

【国際資源学部】

[国際資源学科]

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に対する興味と学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験、TOEIC または TOEFL の成績に加え、個別学力検査等として面接を課すことで、「知識・教養」、「思考力・表現力」、「関心・意欲・態度」、「主体性・協働性」の観点から総合的に評価を行います。資源政策コースがカバーする専門分野を学ぶにあたっての学習意欲と基礎学力、専門分野への関心の高ささらに日本語および英語による論理的表現力・コミュニケーション力を備えた人を総合的に選抜します。

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験、TOEIC または TOEFL の成績に加え、個別学力検査等として理科（物理、化学、地学から選択）の口頭試問を含めた面接を課して「専門分野についての関心と意欲」、「理科の基礎知識と探究心」、「論理的に考え、説明できる、思考力、判断力、表現力」、「協働性などの人間性」を評価し選抜します。

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査、資源・エネルギーの生産手法、リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し、新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し、環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、資源開発、地球環境問題、エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し、豊かな感性と国際的な広い視野で、資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本留学試験、TOEIC または TOEFL の成績に加え、個別学力検査等として理科（物理、化学から選択）の口頭試問を含めた面接を課すことで、「知識・教養」、「思考力・表現力」、「関心・意欲・態度」、「主体性・協働性」を評価し、資源開発環境分野を学ぶために必要な知識と能力、学習意欲をもつ人を総合的に選抜します。

【教育文化学部】

[学校教育課程]

《教育実践コース》

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として「小論文および面接」または「実技検査（音楽、美術、体育）および面接」を課して「読解力、論理的思考能力、発想力、文章表現力、および技能・表現力」を評価します。

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として小論文（英文）および面接（英語および日本語）を課して「大学での学習に必要なとされる言語に関する読解力・表現力・論理的思考力、および英語教育に対する関心・意欲、主体性と協働性」を評価します。

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学と理科に関する試問を含む）を課して「知識、論理的思考力、表現力、関心、意欲、態度」を評価します。

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として小論文および面接を課して「他者と協働して物事に取り組む態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わりたいことを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育・心理支援に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの心理発達の支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として小論文と面接を課して「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に対する関心・意欲と、論理的思考力、読解力、表現力」を評価します。

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力と、本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し、将来、国際交流推進や国際化支援の分野で地域に貢献できる人を求めます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として、小論文および面接を課して「幅広い知識・教養に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、コミュニケーション能力および地域貢献への意欲」を評価します。

【医学部】

[医学科]

●求める人物像

1. 地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人
2. 基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3. 大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を有し、本医学科の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来の医学分野の国際交流に貢献できる学生を求めます。

そのため、日本語留学試験に加え、個別学力試験として、英語および数学の2教科と面接を課して「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」「将来性」を評価します。

[保健学科]

《看護学専攻》

●求める人物像

1. 看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2. 豊かな人間性と協調性を備え、高い倫理性を育てられる人
3. 十分な基礎学力を持ち、探究心を持って主体的に学習できる人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、看護学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来、看護の分野で国際交流に貢献できる学生を選抜します。

そのため、日本語留学試験に加え、個別学力試験等として、英語および面接を課し、「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1. 理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2. 地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3. グローバルな視野を持ち、科学的探究心の強い人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち、理学療法学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来、保健・医療・福祉の分野で国際交流に貢献できる学生を求めます。

そのため、日本語留学試験に加え、個別学力試験等として英語および面接を課し、「総合的な基礎学力」「思考・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1. 作業療法学に興味・関心があり、学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2. 国際的な視野を持ち、科学的探究心の強い人
3. 他者をよく理解し、細やかな配慮や行動・発言ができる人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち、作業療法学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来、保健・医療・福祉の分野で国際交流に貢献できる学生を求めます。

そのため、日本語留学試験に加え、個別学力試験等として、英語および面接を課し、「英語の学力と対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

【理工学部】

[生命科学科]

《生命科学コース》

●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語（日本語）や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

●入学者選抜の基本方針

生命科学分野に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理、化学、生物から受験者が選択する1科目についての基礎的な試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

[物質科学科]

《応用化学コース》

●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

理学や工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理および化学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

《材料理工学コース》

●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学者選抜の基本方針

理学や工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理および化学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

[数理・電気電子情報学科]

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学、物理学、計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学、物理学、計算機科学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な科学者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

《電気電子工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー、創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信や医療機器、社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

電気電子工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

《人間情報工学コース》

●求める人物像

1. 感性が豊かで、論理的思考に習熟し、対象を広く、また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す、意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

理数系の学問に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学分野に関する知識についての質問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

[システムデザイン工学科]

《機械工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり、工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計、力学、制御を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 持続的社会形成の必要性を理解し、創造的な機械開発にチャレンジしたい人

●入学者選抜の基本方針

機械工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

《創造生産工学コース》

●求める人物像

1. 数学や理科系科目が好きで学習意欲があり、基礎学力をさらに身につけたい人
2. 機械工学や宇宙工学を学び、「ものづくり」のための工学基礎力を身につけたい人
3. プロジェクト遂行体験を通して実践力と創造性を高め、新しい分野に挑戦したい人

●入学者選抜の基本方針

創造的なものづくりに強い関心を持ち、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

《土木環境工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同一レベルの十分な基礎学力を持ち、本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し、工学や自然科学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価し選抜します。

Ⅸ その他

1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、下記様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、下記の期限までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○事前相談の期限

試験区分	事前相談の期限
A O 入 試	平成29年9月4日(月)
推 薦 入 試 I	平成29年10月24日(火)
推 薦 入 試 II 私費外国人留学生 (医学部以外の学部)	平成29年12月6日(水)
一 般 入 試 私費外国人留学生 (医学部)	平成30年1月18日(木)

○相談先

秋田大学入試課
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話 018-889-2256

○様式ダウンロード先

秋田大学ホームページ
<http://www.akita-u.ac.jp/>
「入試情報→特別措置について」で確認してください。

○様式 (A4判)

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書		
平成 年 月 日		
試験区分	推薦 I, 推薦 II, 前期日程, 後期日程, その他 ()	
志望学部等	学部	専攻 学科 課程 コース
氏 名 (年齢)	(歳)	
連 絡 先	〒 - - 電話 - -	
障害等の種類・程度 ※医師の診断書等障害の状況がわかるものを添付してください。		
受験上希望する配慮の内容		
修学上希望する配慮の内容 ※入学が確定した後、学生サポートルームから相談内容について連絡する場合があります。		
出身学校等で取られていた特別措置		
大学入試センター試験受験時の特別措置		
日常生活の状況		
出身学校等	学校名等	
	所在地および 電話番号	〒 - - 電話 - -

2. 平成30年度秋田大学「個別の入学資格審査」について

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願できることとなります。

平成30年度入試に関する入学資格審査は、次のとおり実施します。

1) 個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり、平成30年3月31日までに18歳に達し、本学の指定する書類を提出できる者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における12年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
- (2) 上記(1)以外の者で、各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）が、高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できる者

2) 申請受付期限

- (1) 平成29年12月11日(月)（必着）
ただし、大学入試センター試験出願のための申請は、平成29年8月18日(金)（必着）までとします。
- (2) 大学入試センター試験受験後に、審査を申請する場合
平成30年1月15日(月)～17日(水)（必着）

3) 申請書類

審査を希望する者は、秋田大学入学資格認定申請書〔別紙様式〕に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて、本学に申請してください。

- (1) 上記**1)**の(1)による申請者
 - ア 修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
 - イ 課程の組織に関する事項が記載された書類
 - ウ 教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
 - エ 学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
 - オ 入学および卒業に関する事項が記載された書類
 - カ 当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書
- (2) 上記**1)**の(2)による申請者
 - ア 学校教育における9年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
 - イ 社会での実務経験等（資格取得を含む）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

4) 審査方法

申請書類により審査を行います。申請書類の不備や疑義等がある場合は、期間を定めて当該申請書類の補正を求め、それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

5) 審査基準

- (1) 上記**1)**の(1)による申請者については、当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。
- (2) 上記**1)**の(2)による申請者は、学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）について精査し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを審査します。

6) 認定

審査の結果、入学資格を認める場合は、申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。

入学資格を認めない場合は、申請者に対してその理由を付して通知します。

7) 認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込みまたは学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって、その要件が満たされない場合は、入学資格認定を取り消します。

8) 申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は、簡易書留郵便とし封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒（長形3号、簡易書留速達料金672円分の切手を貼付し、あて先を明記したもの）を同封してください。（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）

なお、審査を申請するに当たっては、事前に次に照会願います。

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
秋田大学入試課 （電話 018-889-2256）

○別紙様式（A4判）

秋田大学入学資格認定申請書	
平成 年 月 日	
秋田大学長 殿	
(ふりがな) 申請者氏名 (自署)	(男・女)
生年月日	年 月 日生
私は、平成30年度秋田大学入学者選抜試験を受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。	
記	
出願希望学部	: _____
申請者住所	: 〒 _____ _____
電話番号	: _____ () _____

3. 検定料免除について

秋田大学では、東日本大震災および平成28年(2016年)熊本地震を含め、災害救助法が適用される自然災害により被災した方が、経済的理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。詳細については、秋田大学ホームページ (<http://www.aki-ta-u.ac.jp/>) 「入試情報→検定料免除について」で確認して下さい。

4. 一般入試における入試過去問題の使用について

- 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

5. 学生募集要項の発表・配布

1) 学生募集要項の発表

一般入試学生募集要項	平成29年11月上旬
推薦入試学生募集要項	平成29年 9月中旬
私費外国人留学生入試学生募集要項	平成29年 9月中旬

2) テレメールで請求する場合

(1) 本学ホームページからの請求

詳しくは、秋田大学ホームページ (<http://www.akita-u.ac.jp/>)
「入試情報→資料請求」をご覧ください。



【通常受付期限】 平成30年1月25日（木）正午まで
【速達対応受付期限】 平成30年1月28日（日）正午まで

※ 一般入試学生募集要項は自動音声応答電話による請求を除き、通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応(レターパック)で受け付けます。速達対応の料金は下記(2) ②に記載の料金とは金額が異なります。

(2) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話での請求

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）の場合	自動音声応答電話の場合
<p>URL http://telemail.jp</p> <hr/> <p>バーコード</p> <p>※ バーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。</p> 	<p>IP電話（24時間受付） TEL 050 - 8601 - 0101</p> <p>※ 一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 なお、住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。</p>

② 請求を希望する資料請求番号(6桁)を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(予定)
大学案内	5 6 0 9 9 2	215円
入学者選抜要項	5 8 0 9 9 2	215円
入学者選抜要項・大学案内	5 6 0 9 5 2	300円
一般入試学生募集要項	5 8 0 9 5 2	300円
一般入試学生募集要項・大学案内	5 4 0 9 5 2	300円
推薦入試学生募集要項	5 8 0 9 6 2	300円
AO入試学生募集要項	5 4 8 8 2 2	180円
AO入試要項・大学案内・理工学部案内	5 4 0 9 6 2	300円
AO入試要項・理工学部案内	5 8 4 9 4 2	215円
国際資源学部案内	5 4 8 8 4 2	140円
教育文化学部案内	5 6 0 9 6 2	180円
医学部医学科案内	5 4 0 9 8 2	120円
医学部保健学科案内	5 8 0 9 7 2	140円
理工学部案内	5 6 0 9 7 2	215円

③ ガイダンスに従って登録してください。

- ※ テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。
- ※ 請求から1~2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合があります。5日以上経過しても届かない場合は次ページテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日までの請求は予約受付となります。
- ※ 料金は、資料に同封された料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。
- ※ 学生募集要項配布開始後は、入学者選抜要項・大学案内は大学案内のみの発送になります。

お問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター I P 電話 050-8601-0102 (9:30 ~ 18:00)

- 3) モバっちょで請求する場合 (11月上旬から発送開始)
インターネット (携帯電話・スマートフォン・パソコン) を利用してください。

URL <http://djic-mb.jp/akita-u/2>

QRコード



【通常受付期限】 平成30年1月22日 (月) 正午まで
【宅配発送受付期限】 平成30年1月27日 (土) 正午まで

【料金 (送料+支払手数料)】

- 大学案内: 200円+支払手数料
- 一般入試学生募集要項: 200円+支払手数料
- 大学案内+一般入試学生募集要項: 300円+支払手数料

【料金の支払い方法】

- ① 請求時払い
携帯電話払い, スマートフォン払い, クレジットカード払いができます。
(支払手数料は別途50円必要)
※ 携帯電話・スマートフォンの機種, 携帯電話会社との契約状況によって, 通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合は, コンビニ後払いを選択してください。
- ② 後払い
資料到着後, コンビニで支払ってください。(支払手数料は別途126円必要)

お問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター 電話 050-3540-5005 (平日10:00~18:00)

- 4) 直接来訪する場合
秋田大学入試課の窓口で配布します。(8:30~17:00)
ただし, 土曜日, 日曜日, 祝日および12月29日~1月3日は, 窓口配布を行いません。

資料の請求先および出願等に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

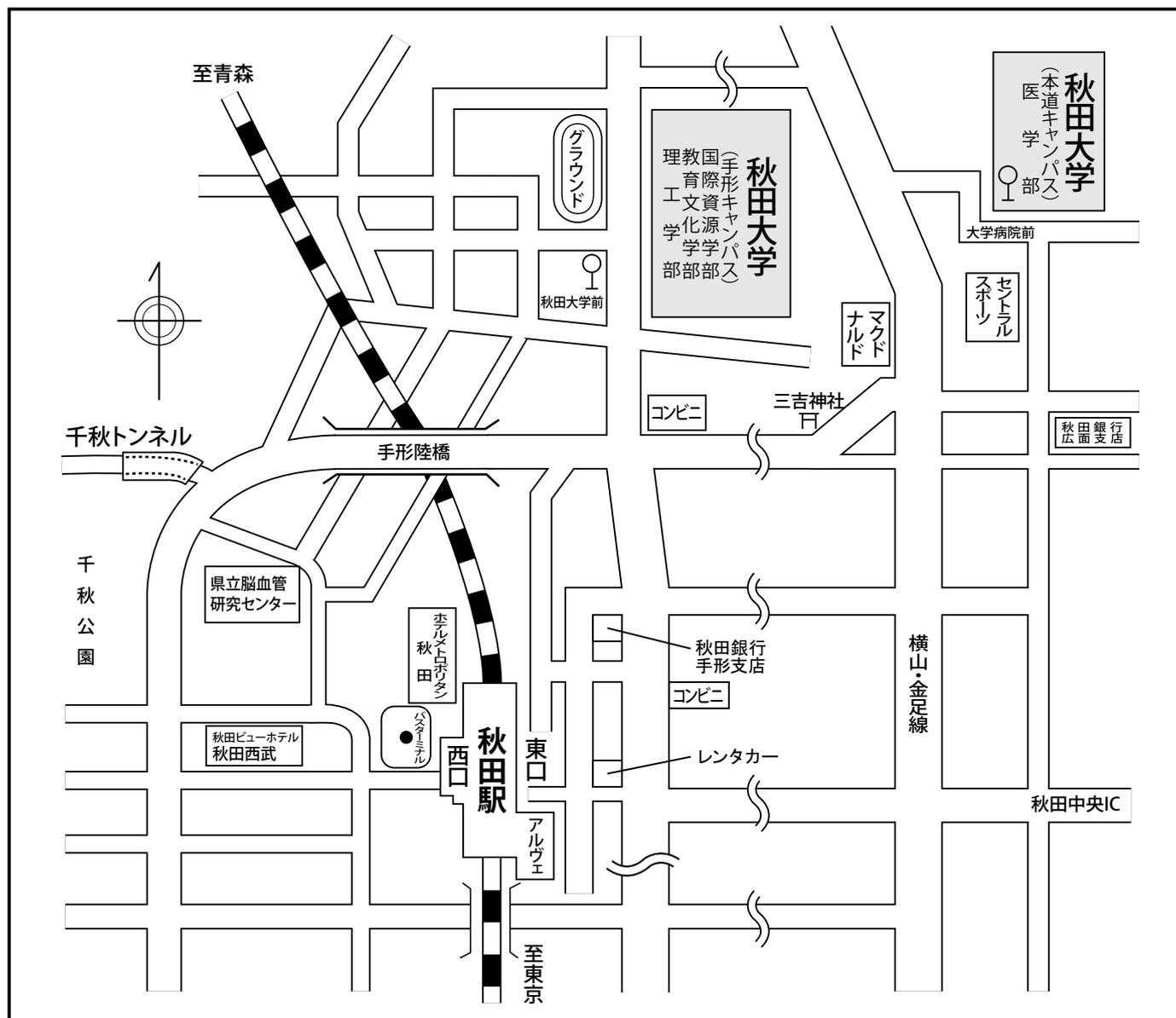
電話 018 - 889 - 2256

URL <http://www.akita-u.ac.jp/admission/>

QRコード



6 大学の案内図



国際資源学部 教育文化学部 理工学部の交通案内

- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山経由大学病院線
秋田大学前下車 徒歩約1分
- 秋田駅東口から秋田大学手形キャンパスまで
徒歩約15分 (約1.3km)

医学部の交通案内

- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山経由大学病院線
- 秋田駅西口バスのりば 11番から
秋田中央交通バス 太平線, 松崎団地線,
赤沼線
- 秋田駅東口バスのりば 2番から
秋田中央交通バス 赤沼線

各線とも大学病院前下車 徒歩約5分

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号

TEL:018-889-2256 FAX:018-835-9924

URL <http://www.akita-u.ac.jp/>